



なかいず認定こども園

園だより 5月号

令和8年5月28日

## 収穫の先に

4月の終わり頃から5月の初め頃は、年長組も年中組も収穫の最盛期でした。これらは、どちらも前年度の秋に種まきをした春野菜エンドウ豆とソラ豆です。本園の自慢できるところは、野菜の収穫だけを体験するのではなく、種まきから始めて、成長の様子を観察し続けた後に収穫できる体験であることです。発芽の喜びや、厳しい寒さでほとんど成長しない様子を実感した上で、春の暖かさを通して一気に成長していく事を実際に感じ取れるのです。そして、野菜を収穫した後はそれを給食の時にみんなで食べてみるだけでなく、持ち帰ってご家族と共に味わう活動へ広がります。重ねての食育活動になります。

さらに本園で続くのが、収穫を終えた野菜の片付けとそれに続く夏野菜の栽培です。畑での栽培活動の流れを季節の変化と共に体験することができます。大げさに言えば、自然の中で命には始まりがあり終わりがあって、それらを繰り返しながら続いていくということです。こども園の園児は、ここまででは理解することはできなくても、いつかきっと気がつくことになるでしょう。ゆり組の子ども達は、栽培していたエンドウ豆を片付け、別の日にその畑の横にナスやピーマン、甘長唐辛子の移植をしました。たんぼぼ組もソラ豆を片付けて、後日キュウリの苗を定植しました。すみれ組は初めての栽培活動として、4月17日にポットに一粒ずつ蒔いて観察を続けてきたインゲンとモロコインゲンの苗を畑に植え付けました。幼児組の夏野菜の栽培が今年も始まったのです。



その一方で収穫や栽培が終わった野菜もまだまだ活躍しています。観察したことを元にドキュメンテーションとしてまとめたり、制作活動に繋がったりしているのです。左の写真は年長児の制作したソラ豆ですが、豆のさやの内側についていた綿状のベッドも、熟したソラ豆についている黒いおへそもしっかりと再現されています。豆の大きさにもいろいろあるということも、実際にいくつかの豆を開いてみたので気がついたことでしょう。知らず知らずのうちにはしっかり見る経験ができました。このような経験が、小学校以降で「学ぶ」ことの元になるのです。子ども達は、楽しく遊びながらも学習する素地となる体験をしていくわけです。今年も楽しみです。是非ご家庭でも野菜の話をしてみてください。



た場所をおうちの方と確認するお子さんの姿も見ることができました。広い園内で思いっきり体を動かしていましたが、大きなけがをする園児もなく良かったと思います。一方、大人にとってはいつも以上に運動量が多い一日になったのではないのでしょうか？本当にご苦労様でした。

幼児組の皆様は親子遠足にご参加ありがとうございました。8時過ぎまでパラパラと小雨が降ったりやんだりでした。山の上だし雨具が必要かなと心配しましたが、集合時刻には雨は止んで集合写真も撮影することができました。風があって少し肌寒い日となりましたが、園児達は笑顔で走り回っていて元気そのものでした。来園を予定していた他の園は中止したのか、園内は本園の他はあまぎ認定こども園だけで施設が空いていたこともあり、一つ一つの遊具や施設を待ち時間もほぼなく、ゆったりと利用することができたのも良かったです。ビンゴカードを手元を持って利用した





14日には内科健診、21日には歯科健診が実施されました。どちらも子ども達の健やかな成長のため、年2回実施することが求められている健診です。乳児組の子ども達の中にはお医者さんを見て、涙を流す子もいましたが担任の保育者などが支援しながら健診を受けることができました。歯科健診の結果はすべてのお子さんに紙面でお知らせしますが、内科健診の結果は連絡帳にてお知らせしておりますのでご覧ください。不明な点がありましたら園までお知らせください。なお、健診当日に欠席をされたお子さんは、ご家庭で引率して園医での受診をお願いします。



## 6月の 行事

4日(木)支援センターイベント(生きいきプラザ)

8日(月)発育測定 年中組保育参観

9日(火)年長組保育参観 園評価委員会

10日(水)ジャガイモ掘り(中伊豆体験農園)

年長組・年中組

(予備日16日)

11日(木)乳児組保育参観

12日(金)年少組保育参観 交通安全教室  
支援センターイベント

15日(月)音楽遊び

18日(木)避難訓練

26日(金)FMいず収録(年長児)

29日(月)英語教室

保育参観の時間は

乳児組は、9:00~10:30

幼児組は、9:00~11:30

です。また、園児と共に降園する場合には

乳児組は給食前に、

幼児組は給食直後をお願いします。

※8日から始まる今年度初めての保育参観ですが、昨年度までと計画を変更しております。乳児組参観の日を設定して、1~2歳児のクラスも参観できるようにしたことです。乳児組の参観に関しては、保育環境への慣れを優先するにはこの時期に保護者の方が参観すると、子ども達はそちらに気を取られいつも通りの保育はできないという課題があります。しかし、そんな園児の様子も成長の一時期の姿であると考えた事と、園児数が減ってきて、おうちの方が帰られた後で園児が不安定になっても、なんとか保育を続けられる見込みが立った事から思い切って変更してみました。

※12日の交通安全教室では、すみれ組は保護者の方と一緒に園庭で歩道の歩き方などを実践します。すみれ組の保護者の皆様も動きやすい服装でご参観ください。

### 今年度のプール遊びについて ~水遊びを主に、一部プール遊びをします~

今年度も感染症対策や熱中症予防に十分配慮したうえで、昨年度と同じような水遊びを中心としながらも、幼児組についてはプール内に水をためてのプール遊びを一部取り入れていきます。それぞれのクラスから出されるお便りや、バスキャッチのメールを確認してください。

なお、水遊びやプール遊びでは、危険防止のため健康チェックカードに保護者の皆様の確認がない場合には、お子さんは水遊びなどに参加することはできません。(室内で過ごすこととなります。)

感染症予防のため、皮膚病などがある場合には事前に医師の診断を受けて、水遊び等に参加してもよいかを診断してもらってください。園では水遊びでもプール遊びでも、園児同士のタオルの共同使用などを避けたり、清潔なタオルを使用できるよう使用後の持ち帰りなどを徹底したりして感染予防を進めていきたいと考えています。

これから暑い日が続く、熱中症になりやすい時期となります。水分補給もこまめにとるようにしたいと思います。こども園では、一つの活動が終わるごとに「水を飲むよ。自分の水筒を用意して」と声をかけて、園児一人一人が水分補給をしていることを確認しています。これからの時期はたくさんの水分が必要になると思いますので水筒の中身も麦茶や水をたくさん入れてきてください。お願いします。また、水筒は毎日洗浄して、食中毒の防止もお願いします。